

14th International Science Youth Forum Digital @Singapore (ISYF digital 2022) 報告

- ◇期 日 令和4年1月18日(火)～21日(金)
- ◇場 所 富山中部高等学校/Hwa Chong Institution (オンライン開催)
- ◇参加者 SS 化学部 渡邊 愛織 (25H)

昨年10月に開催された高校化学グランドコンテストで、私たちが研究しているNaCl結晶の変化に関する発表が二大学学長賞を受賞し、ISYFへの参加を推薦された。ISYFは、シンガポールのHwa Chong Institutionが主催する国際科学青少年フォーラムである。今年は、オンラインでの開催で4日間行われ、各国の代表生徒はTeam Project Challenge (TPC)活動の割り当てられたチームの間で主に交流した。

1日目には、まずWelcome & Icebreakersという活動があり、10班のTPCグループに分かれて自己紹介やゲームなどを行った。私は「アークライト」チームで活動をした。活動中はすべて英語なのでとても緊張したが、運営のメンバーが「焦らなくていいよ、自分のペースで楽しんでね！」とチャットしてくれたことが印象に残っている。午後は、アストラムという架空の島が提示され、その島が抱えている環境等の様々な問題を解決することを全体テーマとして、チームごとに与えられた課題に対してメンバー全員で解決策を考えるTeam Project Challengeという活動を行った。私たちのグループは「砂漠化」がテーマだった。また、TPCの後には「文化の共有」の時間があり、日本、富山県、そして富山中部高校を紹介することができた。



2日目はTPC活動と、Meet the STEM Changemakersという各分野の専門講師による最前線の研究についての講義を聞き、交流できる活動にも参加した。講義では、日本のことが良い話題として取り上げられ、日本人として誇らしく思った。



3日目はTPC、Meet the STEM Changemakersの後にStudent Project Exhibitionがあり、私たちのNaCl結晶に関する研究の発表を行った。とても緊張したが、「質問の答えは日本語でもいいですよ。」と運営のメンバーが言ってくださり、多少緊張がほぐれた状態で発表できた。

4日目はTPC Showcaseで、TPCの課題研究の結果を発表する活動があった。仮想の島アストラムの問題を解決するためのユニークな解決策や、各チームの個性が出たパワーポイントの内容はどれも興味深かった。

4日間英語漬けになり、聞き取ることに精一杯だったが、とても良い刺激になった。海外の生徒との交流で、絆を深めることができたこの経験は、私の人生の宝物になった。この経験をさせていただくにあたって、お世話になったISYF並びに高校化学グランドコンテストの関係者の皆様、最後まで支えてくださった富山中部高校の先生方、部活動の仲間、家族にこの場を借りて感謝申し上げます。

(25H 渡邊 記)